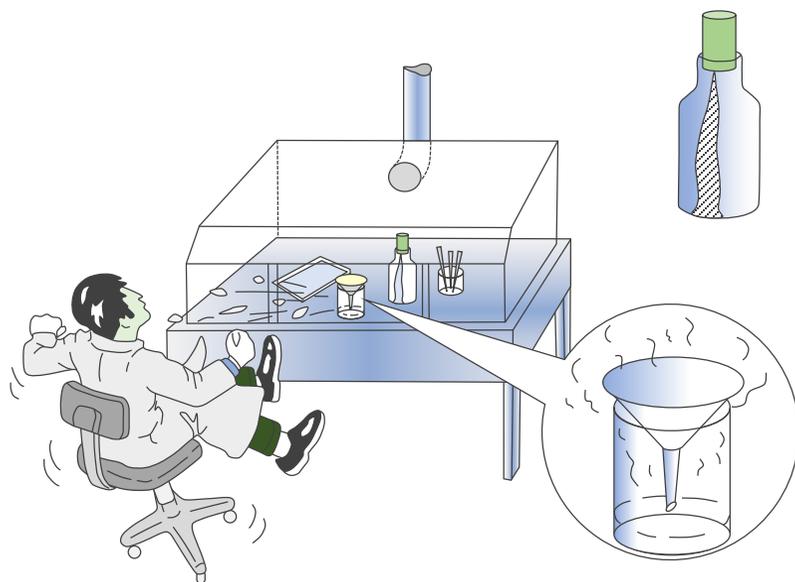


LSI工場分析室で廃液処理容器が破裂・熱傷等の被害



【発生場所】

半導体集積回路（LSI）製造工場の製品分析室のドラフトチャンバー

【被災原因】

ドラフトチャンバー内でLSIの洗浄に用いたエチルメチルケトンの残りを、誤って酸類廃棄用容器の漏斗に投入により、空気とオレンジ色の煙が噴き出し、酸類の廃棄用容器及びそれを格納するアクリル製の箱が破壊され、中の硝酸等が室内に飛散した。

【被災状況】

室内にいた4名が化学熱傷等の被害を受け、また、室外で異常を知って室外への誘導に入った関連会社の職員が急性気管支炎の被害を受けた。

【対策】からの抜粋

- 2 安全衛生教育の徹底
- 3 安全作業マニュアル等の整備と徹底



～理研計器からのご提案～

リスクアセスメントを実施し、ガスの発生が予見される環境や作業がある場合、リスク低減措置に加え、ガス検知警報器で安全確認をしながら作業されることを、お勧めいたします。